

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年6月28日(2012.6.28)

【公開番号】特開2010-163477(P2010-163477A)

【公開日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【年通号数】公開・登録公報2010-030

【出願番号】特願2009-4464(P2009-4464)

【国際特許分類】

C 09 J 7/02 (2006.01)

C 09 J 133/08 (2006.01)

C 09 J 11/06 (2006.01)

B 32 B 27/00 (2006.01)

B 32 B 27/30 (2006.01)

【F I】

C 09 J 7/02 Z

C 09 J 133/08

C 09 J 11/06

B 32 B 27/00 M

B 32 B 27/30 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月15日(2012.5.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水分散型粘着剤組成物から形成された粘着剤層を備える粘着シートであって、

該粘着剤組成物は、硫黄を構成原子として含む連鎖移動剤を用いて合成された水分散型アクリル系重合体を含み、

前記連鎖移動剤は、メルカブト基の結合している炭素原子に結合する水素原子が一つ以下であるメルカブタン、または前記炭素原子が共鳴構造をとるメルカブタン、を主成分として含み、

前記主成分とは、前記連鎖移動剤のうちの50質量%以上を占める成分のことであり、
基材の両面に前記粘着剤層を備える両面粘着シートとして構成されており、

当該粘着シートを85度で1時間加熱するガス発生試験において、硫黄を構成原子として含むガスの放散量が、前記シートの面積1cm²当たり、SO₄²⁻換算で0.043μg以下である、粘着シート。

【請求項2】

前記連鎖移動剤は、メルカブト基の結合している炭素原子上に水素原子を有しない構造のメルカブタンを主成分とする、請求項1に記載の粘着シート。

【請求項3】

前記メルカブタンは、3級メルカブタンおよび芳香族メルカブタンからなる群から選択される一種または二種以上である、請求項2に記載の粘着シート。

【請求項4】

電子機器の内部で用いられる、請求項1から3のいずれか一項に記載の粘着シート。